



# まなびの扉

## 婦人の家イベント

### 講演会「いつも笑顔で地域へ」

▽講師 栗木剛氏  
▽日時 8月9日(日)  
午後1時30分～2時30分

### ◆初心者のパッチワーク

▽日時 8月5・19日(水)  
午後1時30分～3時30分  
▽定員 先着20人(材料費必要)  
▽申込締切 8月3日(月)

### ◆健康運動教室(全7回)

▽講師 神子素登喜子氏  
▽日時 8月1・22・29日(土)  
9月5・12・19・26日(土)  
午後7時30分～8時30分  
▽内容 ストレッチ体操、有酸素運動でメタボ・ストレス・肩こりや腰痛の解消。

▽持参品 飲み物、タオル等  
◆申込 働く婦人の家  
☎43・2326



## 西淡公民館の特別展

1階展示ホールにて月替りで公民館企画展や西淡文化団体連絡協議会の特別展を開催します。  
西淡公民館 ☎37・3028



## 男の料理教室

▽内容 お米のとき方、野菜の切り方など初歩的な料理実習  
▽講師 南あわじ市いずみ会  
▽日時 9月26日(土)  
午前10時～午後1時  
▽場所 南淡公民館  
▽対象 市内在住の男性で、料理初心者  
▽定員 先着30人

- 文化施設
  - 滝川記念美術館「玉青館」 ☎36-2314
  - 淡路人形浄瑠璃資料館 ☎43-5037
  - 産業文化センター ☎38-0201
  - 淡路人形浄瑠璃館 ☎52-0260
  - 埋蔵文化財調査事務所 ☎42-3849
- 社会体育施設
  - サンライズ淡路 ☎45-1411
  - 西淡社会教育センター・西淡グラウンド ☎36-2027
  - ゆとりっく ☎36-5789
  - サンプル ☎42-4994
  - サイクリングターミナル ☎42-5310
  - 三原健康広場 ☎42-5630
  - 南淡B&G海洋センター ☎52-2404
  - 阿万スポーツセンター ☎55-0652
  - 賀集スポーツセンター ☎54-0779
  - 文化体育館 ☎50-5077
  - 吹上浜野外教育センター ☎55-0948
- 公民館等
  - 働く婦人の家 ☎43-2326
  - 緑公民館 ☎44-3008
  - 西淡公民館 ☎37-3028
  - 三原公民館 ☎43-5038
  - 南淡公民館 ☎50-3048
  - 松帆地区公民館 ☎36-2137
  - 湊地区公民館 ☎36-2055
  - 津井地区公民館 ☎38-0201
  - 丸山地区公民館 ☎39-0210
  - 阿那賀地区公民館 ☎39-0011
  - 伊加利地区公民館 ☎39-0567
  - 西淡志知公民館 ☎36-5526
  - 榎列公民館 ☎42-2393
  - 八木地区公民館 ☎42-5956
  - 市地区公民館 ☎42-5957
  - 神代地区公民館 ☎42-5958
  - 三原志知公民館 ☎42-6343
  - 賀集地区公民館 ☎54-0331
  - 北阿万地区公民館 ☎55-0055
  - 潮美台地区公民館 ☎52-0430
  - 阿万地区公民館 ☎55-0046
  - 灘地区公民館 ☎56-0001
  - 沼島地区公民館 ☎57-0001

## みんなの図書館

☆開館時間/9:30～19:00  
ただし、日曜日・祝日は、17:00まで  
(緑・西淡公民館図書室は土曜日17:00まで)  
☆休館日/月曜日・祝日の翌日・月末整理日(平日)

### ◆8月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑦	18	19	20	21	22
23	④	25	26	27	②⑧	29
30	⑥					

※○はおやすみです

### ●いのちをいただく (西日本新聞社)

内田 美智子 文/諸江 和美 絵/佐藤 剛史 監修

私たちは食べ物食べて生きています。生きることは食べること。人が生きるということは、命を頂くこと。殺すこと。肉食加工センターに勤める人の話をもとに、食べ物のありがたみや感謝して食べることを意味を説く。

●夏でもおいしい麹甘酒で健康になる  
山下くに子 著/小泉 武夫 監修(小学館)

緑公民館図書室 ☎44-3008

### ●ひんやり和のおやつ

寒天、白玉、わらびもち、水まんじゅう、おしるこ、和風パフェ…。人気のひんやりした和菓子のレシピ集。昔ながらの基本的和菓子と、野菜や果物、チョコレートなども使った応用編おやつを紹介。

●あいうえおべんとう  
山岡 ひかる 作(くもん出版)

西淡公民館図書室 ☎37-3028

### ●こどもとおぼえる包丁の使い方

包編集集 編(自由国民社)

千切り、乱切り、三枚おろし…。こどもと一緒に楽しく覚える包丁のいろは。包丁についての基礎知識や、食材の切り方、料理の作り方を、イラストとともに説明します。

●花火の大図鑑  
日本煙火協会 監修 (PHP研究所)

三原図書館 ☎43-5037

### ●ミリーのすてきなぼうし

きたむら さとし 作(BL出版)

おきにいのぼうしがほしいミリーですが、おかねをもっていません。でも、ミリーはとびきりすてきなぼうしをにいました。ミリーだけのとくべつなぼうし! そのぼうしとは…。

●みんな大好き!お祭りあそび  
いしかわまりこ 著(チャイルド本社)

南淡図書館 ☎53-0234

## ☆図書館イベント☆

### 1 絵本作家 梅田俊作・住子先生による 手作り絵本教室(先着40人)

☆日時 8月23日(日)10:00～15:00  
☆場所 南淡図書館2階 視聴覚室(無料)  
☆持参物 絵を描く道具・のり・はさみ・お弁当  
※小学校3年生以下は保護者同伴必要  
※12:30～緑日(かき氷、メダカすくいなど)  
☆申込先 南淡図書館 ☎53-0234

### 2 絵本作家 梅田俊作 原画展

☆期間 8月23日(日)まで  
☆場所 南淡図書館1階 展示室  
☆内容 『漁火 海の学校』(ポプラ社)

### 3 夏休みスペシャル 子ども映画会

☆日時 8月の毎週土曜日 14:00～15:15  
☆場所 南淡図書館  
☆内容 子ども達に大人気の作品を上映。

## 南あわじ市文化体育館 初回トレーニング講習会 受講者募集

トレーニングルームを利用する場合、初回のみ講習会を受講していただきます。

- 対象者 16歳以上
- 受講料 500円 ※2回目以降、市民200円
- 定員 6人(予約制)
- 講習時間 約1時間30分

月日	曜日	第1講習時間	第2講習時間
8月8日	土	10:00～13:00	～
8月20日	木	16:00～19:30	～
8月29日	土	10:00～13:00	～

- 子ども連れの受講はできません。
- お申し込みは、8月1日(土)当館事務所 ☎50-5077で受付します。
- 市内スポーツセンターの利用できない日(休館日) 8月3日・10日・17日・24日・31日

## 素人企画集団演劇公演 「法王庁の避妊法」

▽日時 8月29日(土)午後6時30分

▽申込 南淡閉暑連盟 ☎52・0035(泉)

▽申込締切 9月2日(水)

▽参加費 1500円(昼食付)

▽試験方法 A・C級に分け、ハンディ戦4局打ち

▽参加費 無料

▽対象 小学5年生以上なら誰でも参加できます(子どもだけの参加可)

▽募集定員 約100人

▽募集締切 8月7日(金)

淡路生活科学センター ☎85・0999

## ひとくはくセミナー 「いついかなる化石をみる」

▽日時 8月22日(土) 午後1時30分～2時30分

▽場所 パルティ

▽対象 小学生以上(先着25人)

▽受講料 500円(中学生以下300円)

人と自然の博物館 ☎079・5599・2003

---

## 南淡夏季閉暑大会

▽日時 9月6日(日)午前9時～

▽場所 南淡公民館

▽参加費 1500円(昼食付)

▽試験方法 A・C級に分け、ハンディ戦4局打ち

▽参加費 無料

▽対象 小学5年生以上なら誰でも参加できます(子どもだけの参加可)

▽募集定員 約100人

▽募集締切 8月7日(金)

淡路生活科学センター ☎85・0999

## 第64回天体観測会 「夏の星座を見よう」

▽日時 8月15日(土)午後8時～

▽場所 神代小学校校庭

▽その他 悪天候時は神代地区公民館でプラネタリウム。参加費無料。保護者同伴(お申し込みは、8月10日(土)午後8時～)

淡路生活科学センター ☎85・0999

## シリーズ 南あわじの文化財 48

### 汁谷窯跡

汁谷窯跡は神代黒道にある淡路最古の窯跡です。淡路島では7世紀中頃(約1350年前)に、灰色の硬い焼物である須恵器の生産がはじまったようです。

近年、ほ場整備やオニオン道路整備に伴って発掘調査が行われ、遺跡の様子が詳しくわかるようになってきました。灰原と呼ばれる周囲のごみ捨て場では、焼き損じた大量の須恵器が出土しました。窯は山の斜面に築かれた登り窯ですが、これが3度にわたってつくり直されていることや、2番目の窯が684年の白鳳南海地震により倒壊したこともわかりました。調査後、窯は地下保存されることになり、現在は看板が立てられています。

▲汁谷窯跡調査風景  
埋蔵文化財調査事務所 ☎42-3849

## 南あわじの文化財 48

汁谷窯跡は神代黒道にある淡路最古の窯跡です。淡路島では7世紀中頃(約1350年前)に、灰色の硬い焼物である須恵器の生産がはじまったようです。

近年、ほ場整備やオニオン道路整備に伴って発掘調査が行われ、遺跡の様子が詳しくわかるようになってきました。灰原と呼ばれる周囲のごみ捨て場では、焼き損じた大量の須恵器が出土しました。窯は山の斜面に築かれた登り窯ですが、これが3度にわたってつくり直されていることや、2番目の窯が684年の白鳳南海地震により倒壊したこともわかりました。調査後、窯は地下保存されることになり、現在は看板が立てられています。

▲汁谷窯跡調査風景  
埋蔵文化財調査事務所 ☎42-3849